

「東口ゆうえんち」

榴ヶ岡市民センター×宮城野区中央市民センター



講座レポートはこちら

1 事業概要

榴岡地区では児童数が多く、子どもたちが安全安心に遊ぶことのできる機会や場が求められています。本事業は、家庭や学校では経験できない遊びをとおして、子どもたちとボランティアスタッフの異世代交流を行うことで、子どもたちの“人間関係を築く力”を養うことを目指して開催しています。講座として15年の歴史があり、令和3年度から宮城野区中央市民センターと共催で実施しています。

2 令和4年度の活動

地域住民、大学生、大学生時代から企画に関わり続けている社会人、近隣児童館職員などが企画員となり、アイデアを出し合って企画運営に当たっています。令和4年度は12月までに企画会を7回開催し、イベント開催に向けて立案、計画、準備を行いました。

榴岡公園クエスト ～2022はビンゴ・クエストだ！～ 7月16日（土）荒天のため中止

小学生対象で、参加する子どもたちが“公園内に隠されたチェックポイントを見つけてビンゴを完成させること”をミッションにしたイベントです。企画員は、“指令書”や“ビンゴカード”“クイズボード”などを作成したり、“クイズマン”に扮してチェックポイントに立つ準備をしたりしました。企画員手作りの“指令書”を使って子どもたちがチームごとに活動する予定でしたが、残念ながら当日が大雨のため中止となりました。作成した準備物などは、来年度のイベントにも活用していく予定です。



～企画会での話し合いの様子～



～榴岡公園のチェックポイントを吟味～



～企画員が“指令書”を手作り～

3 成果と課題

企画員として大学生や社会人の新規メンバーが加わりました。これまでの経験を生かしたベテラン企画員からの提案に、新規メンバーからの新しい視点が加わることによって、イベント内容がよりブラッシュアップされています。“参加者が密にならずに楽しく遊べる方法”についても様々な意見が出されて、コロナ禍でも安心して参加してもらう意見交換がなされました。大学生企画員の参加が流動的であることから、企画員メンバーの定着や増員をどう広報していくかが課題となっています。

4 今後の展望



～本気で怖がらせる“お化けグッズ”を作成中！～

年度内に恒例の「真冬のお化け屋敷」を開催する予定で準備を進めています。企画員のアイデアと実践力が発揮されて、コロナ禍でも地域の子どものために学校や家庭で経験できない遊びの場を提供していくことが期待されています。令和5年度も事業を継続していく予定です。



市民記者がこれまで書いたWeb記事を掲載しています（協力：TOHOKU360）↑